

No.734 January 2018

ASAHI MACHI

Public Relations

㊦ 広報 あさひまち

棚田も
こもり雪化粧

2018

1

No. 734

「チャレンジ」こそ朝日町の伝統 生き生きと活躍できるまちづくり

朝日町長 鈴木浩幸

あけましておめでとございます。皆様には輝かしい新年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

さて、世の中にはまだまだ私たちの知らない、途方もなく想像を超えた世界が存在しています。そんな瞬間をちらっとでも垣間見てしまった時、人はどんな考えを持ち、どんな思いを巡らし、そしてどんな行動を取るのだろうか。ふとそんなことを考えてしまいます。

だいぶ前になりますが、見ることもなく、あるテレビ番組を見ていたら、約20年前、氷上の北極点を犬ぞりで走破した二人の日本人女性を映し出していました。私と同年代の女性がこんなにもたくましく、しかも一つの信念を持ってこのような挑戦をしていたことに、驚きと敬意と、ある種の羨望を持って、その映像を眺めておりました。そして、可能・不可能を超越した、人間の持つ「根源的な力」について考えを巡らしていました。

できることを一つ一つ着実に成し遂げ、積み上げていくことは、物事を進めていく上での基本であります。しかし、ここで立ち止まってい

てはいけません。できないと思われることにも果敢に挑戦し、それを成し遂げ、新しい道を切り拓いていくこと。これこそが今を生きる私たちに課せられた責務であります。日本全体が少子高齢化の進展に伴い、人口減少が続いている中で、大きな転換期を迎えています。朝日町においても、その変化に対応していくためには、新しい挑戦が必要です。朝日町の先人たちが築いてきた「時代の変化に立ち向かい、あきらめず、夢と希望を持って、未来に向かってチャレンジし続けてきた姿」こそ、今、求められている私たちの力です。

今年は「第6次朝日町総合発展計画」スタートの年です。まだ見ぬ10年後の未来に向け、子どもたちの声が響きわたり、若者も女性も高齢者も誰もが夢と希望を抱き、やりたいことに挑戦し、生き生きと活躍することができるよう。そんな町の実現を、皆さんと一緒に目指してまいります。今年も皆様にとりまして、幸せ多い一年でありますよう、心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。

新たな計画の策定と

住み良いまちづくり実現のために

朝日町議会議長 岡崎 吉博

る一年となりました。

町民の皆様、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、平成30年という節目の年を迎え、輝かしい新春を健やかに

お過ごしのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より町政発展のために多大なご理解とご協力をいただいていることに、厚くお礼を申し上げます。新たな年を迎え、議員一同、朝日町のさらなる発展を目指し、引き続き努力してまいりたいと決意を新たにしたいところであります。

さて、昨年は北朝鮮によるミサイルの発射により、Jアラート（全国瞬時警報システム）が発令されるなど、日本全国に緊張が走りました。一日も早い平和的な解決が望まれるところです。

また、地方自治法施行70周年記念式典が、天皇・皇后両陛下を迎え東京都で行われ、私もその席に参加させていただきました。皇太子殿下の訪町とあわせ、私にとって心に残

町については、新たに今後10年間のまちづくりの指針となる「第6次朝日町総合発展計画」が策定され、実行されます。「朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略」とあわせて、政策の実現に向けて議論してまいります。議会活性化特別委員会も3年目を迎え、町民の声を意見書として提出したり、議会憲章の策定、タブレットの導入など、さらなる活性化に向けて取り組んでまいります。

町民の代表機関である町議会として、執行機関とお互いに切磋琢磨しながら、住んで良かったと思えるまちづくりの実現に向けて努力してまいりたいと考えております。

皆様にとりまして、本年が実りある年となりますよう心からご祈念申し上げますとともに、今後も一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

謹賀新年

年頭のごあいさつ

町内郵便局および寒河江郵便局との包括連携協定を締結

■総務課 防災係 ☎67-2111



▲協定書を取り交わす宮宿郵便局の鈴木局長（写真左）と鈴木町長（写真中央）、寒河江郵便局の新妻局長（写真右）

12月12日、町は町内郵便局（宮宿・西五百川・大谷）および寒河江郵便局との間で災害発生時の防災活動や日常の見守りなどにおける包括的な連携協定を締結しました。

町と町内郵便局の間では、平成10年度に相互協力に関する覚書を締結しており、今回の協定でさらなる連携強化を図る目的。双方が有する情報やネットワークなどの資源を活用し、協働体制を整えることによって、地域活性化や住民サービスの向上に取り組めます。

締結式では、「地域の見守り活動」「道路損傷・不法投棄・不審者に関する情報提供」「災害時の避難者支援や対応」など、幅広い分野で協力する取り決めを盛り込んだ協定内容を確認。鈴木浩幸町長と町内3郵便局代表で宮宿郵便局の鈴木健司局長、寒河江郵便局の新妻俊一局長が協定書に署名し、より安心で安全なまちづくりのために、一層の連携強化を誓いました。

第6次朝日町総合発展計画策定委員会

■政策推進課 総合戦略係 ☎67-2112



▲策定委員会による会議の様子（12月11日）

町では、今後10年間のまちづくりの指標となる「第6次町総合発展計画」の策定を進めています。

12月11日、同計画案について協議する第2回「第6次町総合発展計画策定委員会」が行われました。8月まで計6回開催した町民ワークショップメンバー代表者と有識者を中心として、町長、副町長、教育長と各担当課長が参加。計画の「基本構想（目標とする町の将来像）」「基本計画（具体的な活動や数値目標）」等について、5つの部会（産業経済、教育文化、健康福祉、生活環境、地域づくり）ごとに話し合いました。

今後は公衆意見の募集を経て、1月に第3回策定委員会を開催。そこでまとめた最終案を2月振興対策審議会で審議し、3月町議会定例会に上程する予定です。

「第6次町総合発展計画（案）」に対するパブリックコメントを募集しています

今後10年間の朝日町が目指す姿や方向性を明らかにし、まちづくりの基本となる大切な計画です。このたび現時点での「計画案」を公表するとともに、町民の皆さんから広くご意見をいただくため、公衆意見を募集します。

寄付採納報告



12月8日、日東ベスト株式会社（大沼一彦社長／寒河江市）より、まちづくり寄付金として金員10万円が採納されました。

これは、毎年11月に開催されている日東ベスト文化祭のチャリティーバザーによる売上げ金の一部で、「町の振興発展のために活用してほしい」と寄付されたものです。

ふるさとCM大賞で「企画賞」を受賞

■政策推進課 ブランド推進係 ☎67-2112



▲町の若手職員有志で制作。町産りんごのおいしい歯ごたえを15秒で表現した

りんごとお寿司
どちらも「シャリ」が大事

YTS（山形テレビ）が主催する「山形ふるさとCM大賞」。今年の審査会が11月14日、山形市内で行われました。

今年の朝日町の作品は、町特産りんごの歯ごたえとお寿司の「シャリ」をかけたユニークな作品。りんごへの自信と愛が伝わるとして、見事特別賞の「企画賞」を受賞しました。

当CMは今後同局内で年間90回放映される予定です。ご注目ください。

募集期間

平成30年1月10日（水）まで

公表資料

第6次朝日町総合発展計画（案）、募集要項、パブリックコメント意見書

閲覧方法

「朝日町ホームページ」ほか、紙ベースで印刷した資料を「役場2階政策推進課」「西・北部公民館」で閲覧可能。

意見を提出できる方（下記のいずれかに該当する方）

- ①町内に住所を有する方、または町内に存在する事務所または事業所に勤務する方
- ②町内に事務所または事業所を有する個人、法人およびその他の団体
- ③パブリックコメントにかかる事案に利害関係を有する方

意見の提出方法

所定の様式に必要事項を記入し、郵送・ファックス・電子メールまたは直接持参のいずれかの方法で提出してください。所定様式は、「役場政策推進課」「西・北部公民館」に用意しています。また、町ホームページからダウンロードできます。

意見の提出先

- ①郵送
〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 総合戦略係
- ②ファックス ☎0237-67-2117
- ③Eメール senryaku@town.asahi.yamagata.jp
- ④直接持参 朝日町役場2階 政策推進課 総合戦略係

提出された意見の公表について

提出されたご意見は、意見に対する町の考え方とともに、後日町ホームページなどで公表します。

※意見を提出された方の個人情報（住所、氏名、電話番号など）は公表しません。

※個々の意見に対して、直接回答はいたしません。あらかじめご了承ください。

問合せ先

政策推進課 総合戦略係
☎0237-67-2112
※ホームページは右QRコードから





▲右手と左手別々の動作を行う体操で、脳の働きを活性化

12/14 楽しくイキイキ頭の体操 はつらつサロン

12月14日、認知症などの介護予防事業として企画された「はつらつサロン」が創遊館で開催され、17人が参加しました。月2回ペースで全7回の開催を予定。スポーツクラブ天童とルネサンス山形から講師を招き、生涯現役でイキイキと活動できる頭と体づくりを行います。教室では、左右非対称の動作や短い単語を覚えるゲーム、室内で座りながらできる軽運動などを実施。参加者は笑顔で楽しみなが頭と体を動かしていました。



12/16 今シーズンもお得なチケット、イベント盛り沢山！ Asahi 自然観スノーパークスキー場開き

Asahi 自然観スノーパークのスキー場開きおよび安全祈願祭が12月16日に行われ、関係者約50人が今シーズンの安全と賑わいを祈願しました。12月上旬まで降雪が少なく、ゲレンデのコンディションが心配されましたが、この日現在で約80センチの積雪があり、無事全コース滑走可能でオープンを迎えました。Asahi 自然観スノーパークでは、今シーズンも多くの企画を打ち出し、冬の健康増進と利用拡大を図っています（10頁に関連記事）。



12/16 特別な衣装を身にまとい、堂々とステージ発表 あさひ保育園 あさひっ子発表会

あさひ保育園のあさひっ子発表会が12月16日、創遊館ホールで行われました。園児たちは家族ら400人以上が見守るなか、この日のために練習した歌や踊りを披露。各年代やクラス毎のテーマに合わせた特別な衣装を身にまとい、ステージで元気に躍動しました。園児たちの堂々とした演技に成長を感じる保護者の皆さん。発表後には子どもたちへのクリスマスプレゼントが用意され、達成感に満ちたキラキラの笑顔で受け取っていました。



ダチョウ肉を使ったキーマカレー▶

12/19 町特産の食材を子どもたちへ ダチョウ肉を使ったふるさと給食

町のりんご等をエサに町内で飼育されたダチョウ肉を取り入れた「ふるさと給食」が12月19日、町内小学校で提供されました。地元食材・郷土料理のPRと、地産地消推進のため、毎月19日の「食育の日」にちなんだ実施されているもの。ダチョウは豚ひき肉と一緒に調理され、キーマカレーとして提供されました。宮宿小学校の鈴木正暉くん（西町）は「思ったより肉がやわらかくておいしい」と笑顔で完食していました。



▲心をひとつに、みんなで合唱
▶「そらぼっくり」の新田さん（左）と向後さん（右）



◀りんごの剪定枝の木（キ）ーホルダーと、1人1ページを担当し、町の魅力を紹介したパンフレット



▲雪を均して土台を敷き、コンテナを積み上げる作業
◀最後にブルーシートをかけて、雪で覆いました

12/4 歌を通して自分の未来について考える 「夢」をテーマにしたミニコンサート

西五百川小学校で12月4日、寒河江市出身のボーカル新田静子さんと千葉県出身のギター奏者向後直樹さんの音楽グループ「そらぼっくり」を招いてミニコンサートが行われました。西五百川小の教育理念の一つである「夢」がテーマ。7曲が披露され、「トゥモロー」「ありがとうの花」等の合唱曲は児童たちも一緒に歌っていました。

「周りへの感謝と、今大切にしているものをずっと忘れないで」とメッセージを贈る新田さん。6年生の伊藤真菜実さん（長沼）は「将来は医者さんになるのが夢。自分の好きなものを大切にしながら夢に向かって頑張りたい」と語っていました。

12/7 大谷小学校6年生 総合学習で町をPR 手づくりキーホルダーを販売

12月7日、道の駅あさひまちで大谷小学校の6年生12人がりんごの剪定枝で作ったキーホルダーを販売しました。

4月から取り組んできた総合学習の一環。町の観光地や特産品について調査する中でりんごの剪定枝の活用を思いつき、児童たち1人ひとりが町特産のりんごやワイン等の絵付けをしたキーホルダー100個を作成しました。学習を活かして町の名物を紹介した町PRパンフレットも手づくり。キーホルダーと一緒に配布しました。早坂優希さん（大谷五）は、「枝の形に合わせて絵を描くのが難しかった。どちらも町の自慢をPRできるように工夫した」とにっこり。売上金は協力いただいた方へのお礼などとして、地域に還元する予定です。

12/22 雪の中で熟成させ、春に提供 「雪りんご」の準備作業

秋に収穫された町特産のりんごを、約半年間雪の中で保存する「雪りんご」の準備作業が、12月22日にAsahi 自然観で行われました。

春先でもパリパリ感のあるりんごを提供しようと、生産者や観光協会が8年前から取り組んでいるもので、今回は昨年より3人多い16人の農家が参加。コンテナも過去最高だった昨年（400箱）を上回る約500箱が用意されました。雪室は空気神社参道入口前にある建物近くに設置。雪をかき分けてスペースを確保し、コンテナを重ねた後、雪で覆いました。

「雪りんご」という名称は、町が平成27年に商標登録を取得。春先の新たな特産品として人気が高まっています。



ゲストハウス松本亭ー農舎オープン

町の暮らしや地域住民との交流体験ができる簡易宿泊施設として、町初の「ゲストハウス」が常盤地内にオープンしました（1/27）。



神風船まつり 2017

願いや夢などを記した和紙の風船を、熱気球の原理で夜空に飛ばす神風船まつりが行われ、今年は13団体が参加しました（2/4）。



春の雪山トレッキング

春限定！Asahi自然観から「サイツツ峰」を目指す約3kmの絶景トレッキングコースを歩きました（3/5）。



町内各学校で入学式

今年のはあさひ保育園と大谷小学校へ取材訪問。明るく希望にあふれた子どもたちの姿に元気とパワーをいただきました（4/1・7）。



「雪りんご」今年も大成功！

雪の残るAsahi自然観駐車場で「雪りんご」研究会（志藤修治代表）による「雪りんご」の掘り出し作業が行われました（5/1）。



町小学生陸上記録会

町内5・6年生による陸上記録会が西五百川小グラウンドで行われ、子どもたちが自己ベスト更新を目指して奮闘しました（5/16）。



Asahi 自然観スキー場まつり

気持ちの良い青空の下、Asahi自然観スノーパークでスキー場まつりが行われ、子どもたちが雪あそびを楽しみました（1/29）。



ついに最終回「あさひまちブランド大学アンコール」

3年間で53回を開催し、のべ5000人以上が参加した市民大学が一つの区切りを迎えました（2/19）。



ミズノ㈱と共同開催「らくらくボール教室」

2本のボールを使ったストレッチやゲーム、実技として屋外での歩行演習など「楽しく継続できる運動」を学びました（3/28）。



日本カヌーフリースタイル選手権大会

カヌーランド（玉ノ井）で行われた世界大会予選を兼ねたフリースタイル選手権。全国のカヌーイスト達が熱戦を繰り広げました（4/16）。



10年目の記念開催！「高田山ブナの森探索会」

地元高田地区の皆さん主催で行っている探索会も今年で10年目。過去最高の80人が町内外から参加しました（5/7）。



西五百川小伝統の「すもう大会」

校庭に備え付けの土俵で行われる高学年の取組みは、大人も顔負けの迫力。子ども力士の頑張りに応援も白熱しました（6/3）。

朝日町ホームページ内

「まちの写真館」で振り返る

2017 年

町ホームページにある「まちの写真館」では、町内のタイムリーなニュースや季節ごとの自然風景、昔ながらの文化や慣習など、町内の様々な話題を取り上げ、たくさんの写真で紹介しています。
今回は2017年に紹介した35件の中から24件をピックアップし、町の1年を振り返ります。（「まちの写真館」は過去11年分のバックナンバーもすべてご覧になれます。ぜひご覧ください。なつかしのシーンから思い出話に花が咲くかもしれません）



障がいを持つ人たちの山形・福島地域間交流会

体や心に障がいを持っていても、役割を持ちながらいきいき暮らせる文化を広げる地域間交流会が行われました（6/10・11）。



第35回朝日川溪流まつり

朝日川河川公園（立木）で開催され、グループや家族連れなど約2100人が溪流魚のつかみどりを楽しみました（8/6）。



大谷風神祭

風水害を鎮め、豊作を祈願する風神祭の歴史は260年以上前に遡ります。各区趣向を凝らした屋台が夜の大谷地区を練り歩きました（8/31）。



第34回アップル町民駅伝競走大会

町のりんごの季節を彩る「アップル町民駅伝競走大会」。今年も11チームが11区間（25.0キロ）をタスキでつなぎました（10/8）。



アップルミートマラソン&ウォーキング

今回からウォーキング部門を新設。老若男女246人が町のりんごを味わいながら、最大高低差333mのコースを踏破しました。（10/21）。



朝日町産業まつり・りんごまつり

町の産業・特産品が一堂に会し、町最大の集客数を誇るイベント。最高級の町産りんごが並び品評会や各種物販は大盛況でした（11/18～19）。



「大谷のハス田」見頃です

耕作放棄地を地域の皆さんが整備した「大谷のハス田」。今年も見頃を迎え、青空とのコントラストが綺麗でした（7/11）。



ハツ沼春日神社祭礼

旧暦の閏年によりのみ披露される「大名行列」や県の無形民俗文化財「角田流ハツ沼獅子踊り」が3年ぶりにお目見えしました（8/15）。



第38回朝日町ワインまつり

1500席分の前売りチケットは発売開始日に完売する人気ぶり。新酒のワインとパーベキューを思う存分楽しみました（9/23）。



夜の図書館

普段は入ることのできない閉館後の図書館での朗読会と演奏会。ひょうたんランプの灯りの中で特別な夜を楽しみました（10/15）。



第53回朝日町芸術文化祭

芸術の秋を楽しむ芸術文化祭。町芸術文化協議会会員等がステージ発表や展示で日頃の活動の成果を披露しました（11/3～5）。



朝日町ビクトリークリニック

町とまちづくりで提携するミズノ㈱との共同事業。今回は野球編として町野球スポ少の児童等がプロの指導を受けました（11/23）。

STOP! 雪の事故

雪下ろし・除雪作業は安全第一!

本格的な冬を迎え、降雪・積雪量の増加とともに、県内でも雪による怪我や事故のニュースが相次いでいます。

除雪作業は安全が第一。厳しい冬を無事乗り切るために、以下のポイントに注意して、事故を防ぎましょう。

▶問合せ先

総務課 防災係 ☎67-2111

◆道路の除雪作業に理解と協力を

町では、7センチ以上の降雪を目安に除雪隊が出動します。限られた機械で円滑に除雪作業を進めるために、以下の点について町民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

- ①道路に駐車したり、物を置かないでください
- ②除雪車に近寄らないでください
- ③屋根からの雪や玄関先の雪を道路に出さないでください
- ④やむを得ず残雪が各家の出入口・通路をふさぐことがあります。各自での処理をお願いします
- ⑤降雪で道路側に垂れ下がった枝木等は、早めの処理をお願いします
- ⑥除雪関係の要望や問合せは、区長さん経由で連絡してください

※交通障害回避のため、作業は主に深夜～早朝にかけて行いますが、天候や道路状況によって遅れる場合があります。ご了承ください。

▶問合せ先 建設水道課 整備係 ☎67-2115

雪下ろし安全 10 カ条を確認

◆動きやすく安全な服装で!

ヘルメットを着用し、着ぶくれしない動きやすい服装で

◆除雪道具はこまめに手入れ!

日頃から準備し、雪や建物の状況把握と道具の整備を

◆命綱を使おう!

綱は屋根の上で止まる長さに調節して正しく付けること

◆はしごはしっかり固定する!

はしごの足元を固め、上部はロープでしっかり固定

◆使いやすい道具を使おう!

軽く雪が付にくいアルミ製スコップやダンプがオススメ

◆作業は2人以上で!

事故に備えて家族や隣近所に声掛けを。携帯電話も忘れずに

◆体調管理し、無理は禁物!

適度に休憩を取りながら、体調が悪い時は作業しないこと

◆足場をきちんと確認!

屋根に上る前に巻き垂れや雪庇を落とし、足場を確認

◆屋根下など、周りに雪を残して!

万が一転落した際のクッションとして、周りに雪を残すこと

◆緩んだ雪に注意して!

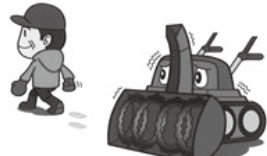
屋根からの落雪や、雪が動く音に注意すること

除雪機による事故を防ごう

作業中は絶対に
まわりに人を近づかせない



作業時以外は
必ずエンジンを停止する



雪詰まりの除去はエンジン
を停止後、雪かき棒を使う



後進するときは、足もとや
後方の障害物に気をつける



朝日中学校「アルミ缶回収ボランティア」

収益金で町内4つの福祉施設へ車椅子4台等を寄贈

朝日中学校では4年前から、生徒会活動の一環として、地域に呼びかけて集めたアルミ缶をアルミ資源として換金し、そのお金で購入した車椅子などを町内福祉施設に寄贈する活動を続けています。

今年3回の収集で過去最高の3450キロを回収。12月21日、同校で活動の集大成となる贈呈式が行われ、町内4つの福祉施設（和合社、ふれあい荘、明鏡荘、グループホームあさひ）に、車いす4台とベッドサイドテーブル1台、器械台2台が贈られました。

式では、生徒代表の志藤七那子さん（栗木沢）が「今年も町の皆さんの善意にご協力でたくさ



んのアルミ缶が集まりました。これからも感謝の気持ちと奉仕の精神を忘れず、充実した実践活動を続けていきたいと思います」とあいさつ。寄贈を受けて、グループホームあさひからは「生徒の皆さんの日頃のボランティア活動や、この度の贈り物に皆大変喜んでいて。大切に使用させていただきます」という小野佳鶴子管理者の謝辞とともに、施設利用者の感謝の気持ちを込めた手縫いの雑巾のお返しがありました。

生徒たちの頑張りに対して年々協力者が増えている当活動。生徒と地域との交流も深まっています。



Asahi 自然観スノーパークで冬を楽しもう!



今シーズンの割引企画

スキーこどもの日	毎週土・日、祝日、年末年始（12/25～1/5）は小学生のリフトが無料
レディース DAY	毎週土曜は中学生以上の女性のリフト1日券が500円
シニアデー	毎週月曜日は60歳以上の方のリフト1日券が1000円（祝日除く）
雪男の日	毎月第3土曜日は、中学生以上の男性のリフト1日券が4時間券価格（例：大人3300円→2800円）
雪マジ! 19・20	19歳→リフト1日券が全日無料 20歳→リフト1日券が全日半額

■安心! 便利! Asahi 自然観無料スキーバス

スキー場営業期間中の土・日、祝日および年末年始（12/31～1/3）は、大谷地区からスキー場を結ぶ無料のスキーバスを運行します。

【行き】大谷往来館（8:50）→役場前（9:06）→自然観（9:30）

【帰り】自然観（15:30）→役場前（15:54）→大谷往来館（16:10）

※このほか町内の停留所を経由します。詳細はHP等でご確認ください。

12月16日、今年も「Asahi 自然観スノーパーク」がオープンしました。良質の雪と起伏に富んだ5つのグレンデ、昨年新設オープンした「ロッジしらくら」をはじめとした3つの飲食施設など、充実した設備が自慢のスキー場です。

Asahi 自然観では、今シーズンも盛りだくさんの割引企画を用意しています。上手に活用し、朝日町の冬を満喫しましょう。



今シーズンのイベント予定

- 1月8日（月）スキーの日フェスティバル
- 28日（日）Asahi 自然観スキー場まつり
- 2月4日（日）スキー級別テスト
- 10日（土）クラウン・テクニカルプライズテスト（事前講習会）
- 11日（日）クラウン・テクニカルプライズテスト（検定会）



北部公民館事業
ドキドキ探検隊

年越しそばを作ってみよう!



12月17日、「ドキドキ探検隊達人倶楽部（鈴木直幸代表）」が企画・運営する北部公民館事業「年越しそばを作ってみよう!」が秋葉山交遊館で行われました。

ドキドキ探検隊登録児童24人のうち、9人が参加。そば作り名人で町の教室等を多数担当している西田和之氏（大江町）を講師に招き、本格的なそば打ちを体験しました。先生の手本を見ながら、おっかなびっくり粉をこねた

り伸ばしたり、大きな包丁に苦戦したりと奮闘する子どもたち。達人倶楽部の皆さんの協力もあり、約1時間半かけて見事なそばを完成させ、打ちたての味を堪能しました。

そば打ち体験は2度目だという佐藤翔くん（大谷三）は、「まあまあ上手くできた」と得意顔。お腹いっぱいそばを食べ、新年への験担ぎをしっかりと済ませました。

▲打ちたての見事なそば

あけまして

おめでと〜ございます

皆さまにとって、本年が素晴らしい年でありますよう、広報委員一同心からご祈念申し上げます。

広報委員長 長岡 信悦（常盤）
同副委員長 井上 幸弘（西船渡）
広報委員 鈴木 聡（本町）
安藤 尚之（真中）
唐木 恵子（八ッ沼）
澤田 隆幸（大町）
古田 雅子（八ッ沼）
佐直 由紀（本町）
三浦 浩一（政策推進）
担当係長 阿部 祐子（地域振興）
担当 村山 彩（政策推進）

【表紙の写真】

12月14日、前日まで降り続いていた雪がやみ、素晴らしい青空に恵まれました。「これは撮影日和!」と外に飛び出し、町の絶景フォトスポットの一つ『樺平の棚田』（能中）で撮影した一枚です。こちらは第2展望台付近からの景色ですが、当然のことながら農道は除雪されていません。足跡ひとつ付いていない真っ新な雪に埋まりながら進み、見晴らしの良い場所に到達する頃にはたつぷり30分が経過していました。苦労した分、冬の朝日ならではの写真が撮れたと思います。